

# 三部合同・春の街歩き=「江戸城探訪」 江戸の歴史ロマンをたどって歩く



『江戸城』の丸を背景に詠急撮影

## 江戸城探訪を企画して

吉本  
茂喜

退職者会の年間事業として定着している「街歩き」の今年度の企画を担当しました。

これまで担当者の近くが選ばれていましたが、私の街千葉NTには大チエーン店と高層マンションが立ち並ぶだけで、特徴がなく、あつてもかなり離れ離れで、ウォーキングは無理でした。そこで、趣味を生かし「城」にしました。しかも、長年勤務してきた職場の隣「江戸城」に。新鮮味がないとか、今更とかと思われるかな?と思う反面、私自

資料を書き集めて、簡単な説明書を造ることにしました。が、散策コースの憲政記念館から平川門まで残存する濠、石垣、門と虎口、櫓などに説明を加えると説明量は半端でなく、A4サイズ4ページにまとめるのに苦労しました。振り返るとかなり説明が不足しているような気がします。

当日の散策時間は、午後1時に憲政記念館前に集合出発して、3時30分までの2時間30分の予定。天気は快晴、城の緑のせいで爽やかな風、作成した資料を見ながら散策

すると、桜田濠の水が澄んでいるに驚きと不思議さを覚えたり、石垣の石には、石工が暇つぶしとしに施した一種の落書きであるスダレ模様やハズリの加工（石化粧）が沢山施されていて、当時の石工さんたち結構暇だったのかなとおかしくなりました。さらに、難攻不落の江戸城も、江戸の華と言われた「火事」の前には太刀打ちできず、度々炎に包まれた跡が痛々しく石垣に刻まれていました。

晴天に恵まれた6月2日。今年の街歩き学習を行いました。今年は江戸城探訪。自他共に認める城愛好家の吉本さんと一緒に、在りし日の江戸城跡を散策しました。参加者は一四人でした。

当日は快晴で汗ばむ陽気の中、参加者は約2時間半の散策を歩ききり、今更ながら江戸城の広さと石垣や櫓から普段気づくことのなかった新たな発見を楽しんでいました。

散策の跡は神保町のカラオケ店で交流会。カラオケ大会では櫻井和恵さんが優勝しました。また、フルート奏者の小牧さん、歌手の洸美さんのミニコンサートも行いました。

身、北の丸以外あまり  
行つたことがなく、こ  
の際じっくりと趣味に  
没頭させてもらうこと



## 新たな発見を楽しんだ江戸城探訪

第2018-5号  
18年7月 1日  
退職者会  
ニュース  
編集委員会  
3221-0052

平均年齢七九・五歳の  
四人も元気に完歩

三部学習街歩き（江戸城探訪）を歩いてみて

前原京子

歩いてみて感じたことを書いてみました。

- 城の玄関口は巨石が最大36トンもあったり、石の表面に縦線・横線が入った「化粧」石や大火により焼けた石も使われていたりと石垣を見て歩くだけでも楽しくなりました。
- 富士見櫓の表と裏の姿、一度見てほしいです。
- 松の廊下の跡地。元禄14年3月14日今から317年前の忠臣蔵の原点も今は木と草で・・・、過日、泉岳寺に行ったときのことをふと思い出しました。

- ④ 汐見坂。江戸時代はここから海が見えたと、東京駅辺りまで海だったと。」走「鎌倉の内歴史の旅古事記
- ⑤ 天守台石垣。天守は家康が造ったものを、2代秀忠が壊して新築し、さらに3代家光が壊して造ったとのこと。その日本最大の天守も明暦の大火で焼失し、今は前田家が築いた天守台だけが残った。巨大な切石が整然と並ぶ 姿は圧巻。
- ⑥ 不浄門を生きて江戸城を出たのは浅野内匠頭と大奥の江島だけとのことです。お城博士の吉本さん、暑い中説明ありがとうございました。



桜田門で全員集合

お城博士の吉本さん、暑い中説明ありがとうございました。

# 秋の旅行会・見どころ案内 戸倉上山田温泉に泊まって、千曲川・塩田平の豊かな自然と史跡、いで湯を満喫しましよう

9月30日(日)10月1日(月) 1泊2日 参加者募集開始

## 信州の鎌倉・別所温泉の古刹を訪れます

千曲川を挟んで上田市の西に広がる塩田平の山懷に別所温泉があります。北条氏との縁が深く、多くの神社仏閣があることから信州の鎌倉と呼ばれます。

### 信州最古の禅寺 安樂寺

古くからこの地の人々の信仰を集めてきた信州最古の禅寺。

真田太平記では、真田幸村が別所温泉を訪れた際の常宿として(隠れ宿)登場しています。

境内にある「八角三重塔」は、木造の八角三重塔としては日本に現存する唯一とされ、長野で初めて国宝に指定された貴重な建物です。本堂では幸村を一躍有名にした「大阪夏の陣」の屏風(複製)も展示。見どころ満載の禅寺です。



### 国の重要文化財のある 常楽寺

「常楽寺」は北向観音の本堂で、今は天台宗の別格本山となっています。本堂は茅葺の寄棟造りでその裏には「石造多宝塔」が国の重要文化財として保存されています。



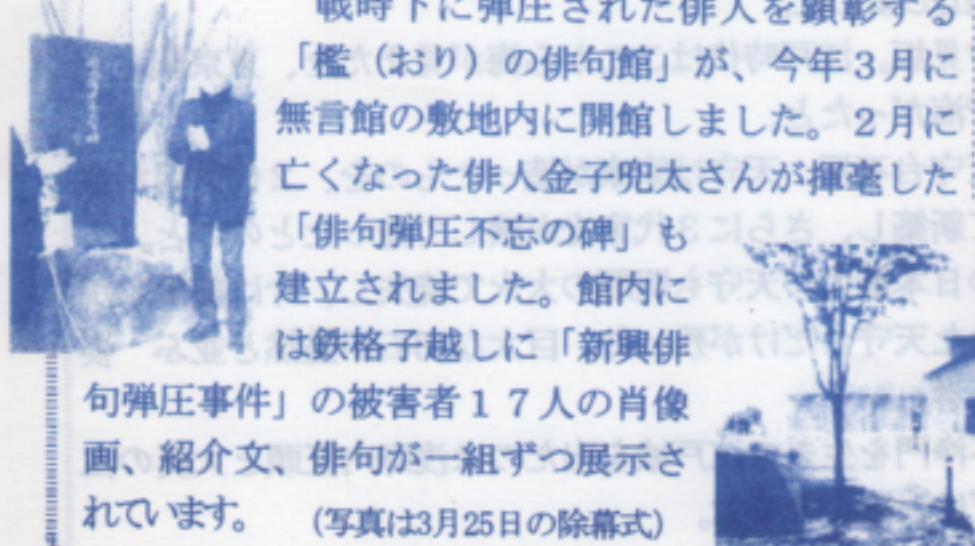
### 北向観音

厄除観音として知られる「北向観音堂」は平安時代初期の825年に比叡山延暦寺座主慈覚大師円仁により開創された靈場です。

北向きの由来は観世音菩薩が現れた際のお告げによるものと言われています。長野市の善光寺と向き合っており、善行寺は来世の利益、北向観音が現世の利益をもたらすと言われています。

### 金子兜太揮毫の碑 檻の俳句館

戦時下に弾圧された俳人を顕彰する「檻(おり)の俳句館」が、今年3月に無言館の敷地内に開館しました。2月に亡くなった俳人金子兜太さんが揮毫した「俳句弾圧不忘の碑」も建立されました。館内には鉄格子越しに「新興俳句弾圧事件」の被害者17人の肖像画、紹介文、俳句が一組ずつ展示されています。(写真は3月25日の除幕式)



## 宿泊は戸倉上山田温泉

戸倉上山田温泉は、上田市の北、千曲市にあります。千曲川のほとりに開けた温泉地です。昔から善光寺参りの参拝客で賑わい、一時は歓楽的な様相を呈していた時期もありましたが、今は豊富ないで湯と風光明媚な立地から、四季を通じて家族連れなどにも好評な温泉場です。

### 真田の城 上田城跡

真田信繁(幸村)の父、真田昌幸によって築城された上田城は第一次・第二次上田合戦で徳川軍を二度にわたり撃退した難攻不落の城として知られています。日本百名城27番・日本夜景遺産に認定されています。



上田城には、真田神社・上田市立博物館などの観光スポットが集まり、信州上田観光の中心としても有名です。

### 姥捨ての棚田

古くから月見の名所・棄老伝説で有名な姥捨て地区(標高460~560m)の傾斜には、眼科の千曲川や善光寺平と呼ばれる広大な盆地を望んで、訳1500枚の棚田が展開しています。姥捨て地区の棚田は国で初めて文化財指定を受けた名称で、2010年には重要文化的景観に指定されています。松尾芭蕉も訪れ俳句を詠んでいます。「おもかげや姨一人なく月の友」芭蕉。一度は訪ねたい日本の原風景です。



### 戦没画学生鎮魂の美術館 無言館

無言館は窪島誠一郎(作家・美術評論家。父は水上勉)により、信濃デッサン館の分館として1997年5月に開館した美術館です。(デッサン館は今年3月に無期限休館となっている)第二次世界大戦で没した画学生の慰靈を掲げて作られました。全国を回って、戦没画学生の遺族を訪問して遺作を集めました。施設名の「無言館」は、展示される絵画は何も語らず「無言」であるが、見る側に多く

を語りかけるという意味で命名されたという。出征が迫る中、「せめてあと5分、あと10分描き続けていたい」書きかけの絵を残し「必ず帰ってきて続きを描くから」と言い残し出征。しかし二度と帰ることはなかった。遠い異国で命を落とした画学生の叫びに心を傾けたい。



**新沢久美子さん**

全国公募写真展に応募、入選して東京都美術館に展示された。タイトルは「帰郷」。故郷に住む義姉と孫を撮影しました。義姉は地元の特養に入居中で認知症。撮影後、天国に旅立った。写真は一瞬だが永遠、忘れられない一枚となった。

テレビを見る機会が多くなった。映像は活字よりインパクトが強い。モーニングショーの森友問題は連日見る。BSの旅紀行もよく見る。美しい映像に酔いしれることもあり。故郷が紹介されるときは高校の同級生から必ずメールがくる。

**星野英子さん**

私は1月末に整形外科を受診し、変形性膝関節症と診断された。左ひざが腫れたり、膝の裏側が痛い、正座ができない…が続いたためだ。一週間後、公園の和式トイレ使用で悪化させてしまい、MRIを撮った。2月、3月は治療通いが日課となった。

4月中旬、東京までお見舞いに行け、しっかりしたウォーキングシューズが活躍した。連休前半は遠出、探鳥だ。新潟市内の父母のお墓参り、叔母のお墓参り、その後村上へ特急で行き一泊。翌日岩舟から乗船し栗島へ。2、3泊し、どんな鳥との出会いがあるかワクワクしている。心身のリフレッシュにもなる旅行だ。（編集部・連休前に届いた「近況」です）

**小鹿野博夫さん**

平日は板橋水泳連盟の指導員として小学生、大人の講習会で水泳を教えている（週4日）。土日は、東京陸上競技協会の審判員として各陸上大会、マラソンロード（箱根駅伝、東京マラソン等）の審判をボランティアとしてやっている。

**黒滝和子さん**

ボケないように買い物は自分で計算したり、手書きで手紙を書いたり、努力しています。

**絵手紙****土屋喜代子さん**

絵手紙を趣味にしている方にお願いです。作品をぜひ退職者会ニュースに寄せてください。ただし、カラーで紹介できないのが残念ですが…。

**生活状況アンケートに寄せられた****「私の近況」****武政登美子さん**

日常は元気にはいますが、後期高齢者になつた途端、いくつかの病気をしました。が、今も退職後から千代田区の知的障害者、親、ボランティアの集まろう会という会で事務局をしています。現在15年目になり、退職者会会員のHさん、Kさんも一緒に活動しています。メンバーは明るく楽しくやっています。

13年前からは千代田区障害者共助会で、事務担当としてかかわっていますが、今は4月の総会に向け決算なので区民の会員さんとも頑張っています。

**渡辺富子さん**

元気にしております。自分の老後が気にかかります。年金だけではやっていけません。こんなはずじゃあなかったのに。年金から引かれる住民税や介護保険料、湯水のように取られている。金額を見て落ち込みます。

**奥村 滋さん**

65歳過ぎて驚いたのは、介護保険料の高いこと。国民年金の2割も持っていかれます。昨年はアトピー性皮膚炎で入院し、今は毎日1万歩歩いて健康を保っています。それでも何とか生活できるのは、在職中諸先輩から退職後の生活についてのアドバイスでした。それは大変役立ちました。

**高橋鏡悦さん**

左の眼を2回も順天堂大で手術、良くならないのに読書はやめられません。1冊目、山岸副会長から買っていただいた本、窮鼠の一矢（きゅうそのいっし）と読みます。

1868年に戊辰戦争が起り、官軍に追い詰められた越後村上藩が奥羽北越連盟に従い、白石城（水上会長の故郷）においての盟約を守り、一矢を報いて減んだ小説ですが、ここで高橋家も壊滅、残っているのは切腹した家老のお寺と同じ寺にあるお墓だけ、これがまた維持するのに金がかかります。それにしても、山岸氏は良書を見つける名人です。

2冊目、今、店頭に並べられている本、方丈記。50年ぶりですが、書き出しにうつとりです。「ゆく川の流れは絶えずして、しかも元の水にあらず」。川の流れのように幸せも悲しみも、時とともに過ぎていきます。作者鴨長明が58歳の時、一生を振り返って書いたのが方丈記だそうです。約800年前、今も同じです。

## 会員の生活状況調査 中間的な分析状況の概要

五年ぶりの生活状況調査にご協力いただきありがとうございました。現在、さらに回答率を上げるべく取り組んでいるところですが、中間的な概要報告をいたします。

### 居住状況

持ち家が七〇%を超えていました。夫婦一人暮らしは四〇%を超え、一人暮らしは約三〇%です。一人もしくは二人暮らしは七〇%を超え、前回よりも増えました。

### 健康状態

本人の健康「良い」は五二・七%、「悪い」は四五・五%です。前回は「良い」六八%、「悪い」三〇%でしたから、この五年間で健康状態は全体として悪化しています。家族の健康状態も「良い」が大きく減っています。家族の誰かが健康を害している状況が増えていました。

### 家計

家計を本人だけで賄っている場合が四六・六%と、前回三三・八%を上回りました。収入は「年金のみ」が半数を越えています。資産・貯蓄を取り崩している人も四人に一人います。七五%近くの人が家計の先行きに不安を持っています。

### 関心事

「健康」が第一位で八〇%、「老後・終活」が二位で六〇%、前回二位だった「年金」が今回は三位五五%となりました。

# 辺野古に基地は作らせない！

## 沖縄慰霊の日に翁長知事が安倍首相の面前で表明

6月23日、73年前のこの日、20万人もの戦死者を出し、沖縄島民を地上戦に巻き込んだ沖縄戦が終わりました。沖縄県は毎年この日を「慰霊の日」とし、本島南部・摩文仁の丘で追悼式を行っています。今年は梅雨も明け、まぶしい太陽が降りそそぐ下で行われました。

この式典で「生きる」という詩を朗読した女子中学生がテレビの前の多くの人々をくぎ付けにしました。14歳の少女の凛としたじろぎのない姿から発せられる「いのち」

「今」「未来」「生きる」をキーワードにした言葉の数々が、聞いている者の胸に突き刺さり、「平和」への深い思いが伝わってきました。原稿を棒読みにし、心に何も訴えるものない安倍首相のスピーチとあまりに好対照でした。

この式典で「平和宣言」を述べた翁長知事の姿は鬼気迫るものがありました。重い癌治療から復帰して間もない知事の変わり果てた姿、頭髪のない頭を慰霊碑に下げ、痩せこけたほほに鋭い眼光。固い決意が込められていることは一目瞭然で、炎天下、式に臨んだ悲壮感がありありでした。何がそこまで知事を駆り立てるのか？安倍首相が座る席からわずか数メートルのところから面と向かい合って、

「辺野古に基地はつくらせない」と宣言を読み上げる形で述べた一言に、すべての思いが詰まっていると感じました。

### ◆ 防衛局 8月17日から「土砂投入」を通知

この追悼式の2週間前、防衛省は辺野古沖を埋め立てて「土砂投入」を8月17日から行うと表明しました。現在、辺野古の新基地建設現場では埋め立て海域への護岸工事が強行されています。埋め立て区域の周りに岩石を投入して堤防状の護岸を作っているのです。護岸はいくつものブロックに分けて工事をしていて、浅い区域の護岸がほぼ完成しつつあるとして護岸の内側へ土砂を投入して本格的な埋め立て工事に入る、というわけです。確かに土砂が投入された海はもはや元には戻りません。極めて厳しい局面を迎えていたといわねばなりません。では、工事は問題なく進むのか、というとここに重大な難問があります。埋め立て予定海域のうち、大浦湾側の水深の深い区域では護岸工事は進んでいないのです。沖縄防衛局はひた隠しにしていますが、この海域の海底には活断層が2本も通っており、さらには極度な軟弱地盤で、当初計画通りの工事では到底埋め立ては不可能ということです。では防衛局はなぜそんな重大な問題を隠したまま土砂投入を強行するのかというと、

とりあえず浅い海域を後戻りできない状態にして反対運動にダメージを加え、諦めさせるのが狙いだというのです。こんな姑息なやり方で、希少生物が生息する貴重な自然を破壊し、戦争のための巨大軍事施設を作ろうとする国・防衛省に怒りがわきます。

### ◆ 朝鮮半島の非核化で状況変化が…

さらに大きな問題が浮上しました。アメリカと北朝鮮との間の新たな平和への動きです。まだどうなるかわからない、と疑問を投げかける識者もいますが、とにかく協議が始まった今、北朝鮮の脅威をことさらにあおって軍備を増強してきたこれまでの路線をひとまず置いて考えるべきときです。沖縄の米軍基地もしかりです。沖縄の米軍や国連軍（朝鮮国連軍の後方指令部は横田にあり、沖縄の米軍基地に今も駐留している）は1950年に起きた朝鮮戦争と密接な関係にあり、朝鮮戦争が終結すれば沖縄の基地の役割も変わらざるを得ません。20年も前に日米で決めた普天間基地の移転とそれに伴う新基地建設を、劇的に変わろうとする世界の情勢と無関係に、莫大な金をかけ貴重な自然を壊してまで作り続けることほど愚かしいことはありません。今はお互い拳を振り上げて威嚇しあうのではなく、拳をほどかないにしても振り上げた手はいったん降ろすべき時です。新しい巨大基地建設に精を出す時ではないはずです。

### ◆ 今こそ支援を強めよう

とは言え、国民の声を聞く耳を持たず、トランプの言うことしか聞こえない安倍首相は、日本が大金を出して作る米軍用の施設の建設を、「やめろ」とは決して言わないトランプに対して、説得を試みることなど想像すらできません。そこで、新基地建設をストップさせる最後の手段が、翁長知事による仲井間前知事が出した「埋め立て承認の撤回」という措置です。翁長知事は「撤回」は断固やると強い決意を何度も語っています。土砂投入と11月の知事選挙を控え、翁長知事の健康問題も絡んでいよいよ「その時」は近づいています。慰霊祭での翁長知事の鬼気迫る姿に「その時」をみたように感じます。

退職者会もこれまで、辺野古新基地反対を掲げて現地を訪ね支援と交流を重ねてきました。重大局面を迎えて引き続き頑張りたいと思います。

(H 記)



# 七五歳以上の高齢者の窓口負担が2割に

## 安倍政権・「骨太の方針2018」に明記

六月一五日、政府は

「骨太の方針2018」

を閣議決定しました。こ

の中で、「負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化」をうたい、

「団塊世代が後期高齢者

入りするまでに、世代間

の公平性や制度の持続性

確保の観点から、後期高

齢者の窓口負担の在り方

について検討する」とし

ています。

「窓口負担の在り方」

とは、四月の経済財政諮

問会議で財界から提言さ

れている内容、すなわち

団塊世代と言われる方々

が七五歳になる二〇二〇

年台までに、七五歳以上

(いわゆる後期高齢者)

の病院での窓口負担を現

行の1割負担から2割負

担に大改悪するという方

針を示したものです。

団塊世代以降の窓口負

担は、すでに七〇歳以上

の負担率が1割から2割

に改悪されており、今回

の提言は団塊世代を口実

にしたすべての高齢者へ

の負担増を画策するもの

で、けつして容認できる

ものではありません。

またこの方針では「介護のケアプラン作成、多

床室室料、介護の軽度者

への生活援助サービスに

ついて、給付の在り方を

検討する」とも述べてお

り、介護・医療のサービ

ス切り下げをも狙ってい

ます。

新たな平和の実現に前

向きに取り組み、そのこ

とで不要となる軍事費を

減らし、その分を国民の

生活のために回す、この

方向こそが今政治に求め

られるのではないでしょ

うか。

## 都退協囲碁大会行われる 井尻さん、高橋弘さんの2人が健闘

6月19日、恒例の都退協囲碁大会が行われました。9つの退職者会から42人が参加、熱戦を繰り広げました。

千代田からは、今年も井尻さんと高橋弘さんが参戦。高橋さんは敢闘賞を授与されました。

お二人ともお疲れさまでした。



## 3000万署名の到達点を踏まえ、引き続き頑張ろう！

六月七日第一次分署名を提出

「安倍9条改憲NO！」

は、五月三日の憲法集会で1350万人を超えた

全国市民アクション」が提起した「安倍9条改憲NO！3000万人署名」

を削減する一方で、軍事費は膨張を続けています。

この「骨太」方針の中でも、軍事力は「大幅に強化する」としています。

安倍政権はこれまで北朝鮮の脅威を煽って軍備増強を続けてきましたが、そ

れ以後も各地で増え続け、市民アクションではすでに1500万人を超えた

と言られています。

六月七日には、衆院議員会館の国際会議室で第

一次提出集会（写真・上）

が開かれ、全国から寄せられた署名用紙が立憲野

党を通じて国会に届けられました。

あいつぐ悪政に対する怒りと3000万人署名の広がりは、安倍政権を

決めていました。

自民・公明の与党など

が、六月二〇日までの国

会会期を七月二十二日ま

で三十二日間延長する議

決を賛成多数で強行しま



した。「残業代ゼロ制度」導入を盛り込んだ「働き方」改革一括法案や、賭博を合法化するカジノ実施法案などの悪法を成立させることが狙いですが、延長国会で国民投票法改正案を実現することで改憲の火を継続させることもねらっています。

安倍改憲に終止符をうつには3000万人署名の力で改憲発議を断念させ、安倍政権を退陣に追い込むしかありません。市民アクションでは「あくまで3000万人の署名達成をめざそう」と呼びかけています。退職者会もこの呼びかけに応えて引き続き頑張っていきましよう。

## 新たに連載開始

# 「私のふるさと」

ーふるつて応募を！ー

生まれ育った町、子供の時に過ごした土地、何かの縁で結ばれ通い続ける場所、人生の大半を住み続けることになった所、誰にも「ふるさと」があるのでないでしようか。そしてそこには懐かしい思い出が詰まっていること

とでしょう。紹介したい風景や文化、忘れられない出来事、自慢したい事柄、なんでも結構です。思い出話でも構いません。

あなたの心に残る「ふるさと」をぜひ紹介してください。

原稿は400字～800字程度でお願いします。手書き原稿の場合は千代田区職労会まで郵送で。メールで送ってもらえる方は、下記アドレスへ。[hattori2@gw7.u-netsurf.ne.jp](mailto:hattori2@gw7.u-netsurf.ne.jp)



南アルプス市のシンボル北岳

## 第1回 私のふるさと・南アルプス市

1回目は、まず幹事から…

西本由起子

山があつても山梨県。山梨県と言うとよく聞く言葉です。私の故郷は、その山梨県の山に囲まれた南アルプス市です。最近改名したので、私の中ではまだなんとなく耳慣れないです。山梨県と言うと皆さんのが思ひ浮かべるのは、富士山、ほうとう、それからフルーツでしょうか。

山梨県側から見る富士山が一番綺麗だと、私は思います。ほうとうは、父が麺を打って鉄鍋で煮て食べた思い出があります。今、お店で食べるような洗練された味ではありませんでしたし、家で採れた野菜を入れ醤油味でした。今は土産売場で買って来ますが、付いていた味噌ではなくお醤油味にしたりもします。

次はフルーツですよね。実家は生産はしていませんが毎年送ってくれます。桃が始めです。山梨の桃は甘いのにりんごの様にシャリシャリと硬い物が有ります。ただ、お店ではなかなか買えないので送ってもらえるのを楽しみにしています。次は「貴陽」というすももです。私の握りこぶしくらい大きいんです。出荷期間が短いのでタイミングが難しいようです。そしてぶどう、様々な品種が出ています。最近は、シャインマスカットですかね。でも私は甲斐路とベリーAが好きです。帰省した時には道の駅で色々なぶどうを買って来ます。

ぶどうが美味しく作れるところですのでワイナリーが大小沢山有ります。日本酒と同じ様に地酒のワインも沢山有ります。貴腐ワインってご存知の方もいらっしゃると思いますが、ゲコの私でも甘くてコクと香りがあって美味しいワインです。ただとにかく高いので庶民の私には、手が出ません。最後は、柿です。柿は、どこにでもありますが、父亡き後兄が、四苦八苦しながら育て送ってくれる柿は、懐かしい美味しさです。

**松** 松筋が始まつたばかりだとみるべきだろうな。七〇年もいがみ合つてきたんだし多くの血も流れたんだもの、一度の会談ですべて解決するはずがないと思う。

**テツ** 戦争になれば朝鮮半島だけではなく日本も莫大な被害を被るところだつた。他人事じやがない。

**松** とにかく「始まり」だろうか。

**松** ととにかく「始まり」だね。我々一市民は黙つてみているだけでいいんだ。

**テツ** 「軍事費を削つて社会保障に回せ」という退職者会の主張も、世界の平和につながつてゐる…。

**テツ** ソダネ。小さな組織の大きな取り組みだ。

川柳コーナー

作品募集

川柳コーナーを常設します。ふるて応募してください。匿名でも可。

・断捨離と張り切る妻につぎ俺か  
・醉つて入浴

いつの間にかお湯抜かれ

・足さすり 9条守れと永田町へ

・父母の亡き 実家訪ねる 試探し

・美ら海に 少女の詩響く 懸霊の日

・ウソつきは 戦争の始まりと覚えけり

・諏事堂に 姿見せてよ 閻魔さま

・戦中子 (匿名)

**松** 松 日本の安倍だけは「対話は意味がない」と言つて圧力一辺倒の異常な対応だったけど。

**テツ** うん、日本のマスクミだけ見ていると、その異常さに気がつかないがね。いまだに「具体性がない」とか「信じられない」といった否定論が横行している。

**松** 松 され、朝鮮戦争が終結すれば、日本にある米軍基地の強化や「北朝鮮の脅威」を理由に軍備を強化する必要もないよね。その通りだと思う。反対や、オスプレイ飛ばすな、といった運動が、いつそう大きな意味を持つてくると思うよ。

**テツ** 辺野古への巨大基地建設反対や、オスプレイ飛ばすな、といった運動が、ソダネ。小さな組織の大きな取り組みだ。